



正しい知識を持ちましょう



「部落差別はいまだにあると思う」という項目に、「そう思う」と答えた人の割合はどれくらいでしょう？

ア. 約45% イ. 約35% ウ. 約13%

出展「明石市「人権・ジェンダー平等に関する市民意識調査（2025年1月）」」

知ることからはじめませんか

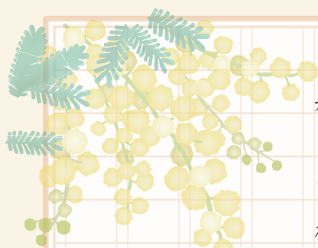
次のような言葉を聞いたことはありませんか。

「同和問題はよくわかりません。それに知らなくても別に困りません。」

「そっとしておけば自然に差別はなくなるのでは。教えるからなくならないと思います。」

関係者の長年の努力と市民の理解で同和問題は解決の方向に向かっていきます。しかし、正しい知識がないと、昔からある偏見や差別意識をそのまま受け入れてしまいやすく、インターネット等にある不確かな情報やうわさを広めてしまうことになり差別に加担してしまいます。差別のない幸せな社会をつくるために、私たち一人ひとりが自分自身の問題として考えていきましょう。

そのために、まずは、学校・地域・職場等で行われている研修会で、正しい知識と情報を得ることからはじめてみませんか。そして、差別や偏見のない社会を実現するにはどうすればよいか、一人ひとりが「わがこと」として考えていきましょう。



招かれなかったお誕生会

江口 いと

孫は小学4年生
かわいい顔した女の子
仲良しA子ちゃんの誕生会
小さな胸にあれこれと
選んで買ったプレゼント
早く来てねと友の呼ぶ
電話の声を待ちました
夕陽が山に沈んでも
電話の声はありません
孫はぼつりと言いました
きつと近所のお友達
おおい遊びに行つたので
お茶わん足りずにAちゃんは
困って呼んでくれないかも
2、3日たった校庭で
A子ちゃん家での誕生会
楽しかったと友人に
聞かされた孫はA子ちゃんに
どうして呼んでくれないの
私はとつても待つたのよ

A子ちゃんとても悲しい顔をして
私は誰より千恵ちゃんを
呼びたく呼ばたく思つたの
けれども私の母ちゃんは
呼んでならぬと言つたのよ
それで呼べずにごめんねと
あやまる友のその顔を
見つめた孫の心には
どんな思いがあつたでしょう
私は孫に言いました
お誕生会に招かれず
さびしかっただらうねと
孫はあのねおばあちゃん
A子ちゃんとても優しいの
私の大事なお友達
A子ちゃん悪くはないのよ
お母さんが悪いのよ
大人つてみんな我ままよ
寂しく言つた孫の瞳に
光る涙がありました
どんなするどい刃物より
私の胸を刺しました

江口いと 人権の詩
「人の値うち」より（明石書店）

